

おおむね Oguchi

議会だより

3月定例会 No.166
平成19年5月1日

町の花「さくら」

- 新年度予算 **中学校に34億円** 3
- 北小学校の移転は（一般質問） 11
- 生ごみ堆肥**の検討は（あれからどうなった） 15
- 議会だより **コンクール 全国第2位** 16



今年で20回を数える桜並木健康ジョギング。ベビーカーに乗る赤ちゃんから「まだまだ若い者には負けない」というお父さんまで、幅広い年齢の方が寒の戻りの中、ジョギングを楽しみました。



集中改革プランで 1900万円を削減

3月定例会は、2日から22日までの21日間の会期で開かれました。

提案説明の前に町長から「総合計画に示された大口町の姿を実現できるよう、財政基盤を強化するための取り組みと地域が本当に必要としている課題を解決するための体制を整えていきたい」との施政方針。

新年度予算をはじめ、条例の一部改正、18年度補正予算など全部で37議案を審議し、採決の結果、全件可決しました。

一般質問では4人が町政全般にわたり鋭い指摘をしました。

19年度一般会計

101億円

中 学校建設に34億円



20年4月の開校に合わせて、急ピッチで工事が進んでいます。理想とする「明日の学校」は目前に迫っています
＝3月22日、議員の町内視察

当初予算

19 年度の一般会計予算は101億円、前

年に比べて22億円の増額です。増額の主な理由は、大口中学校建設事業に34億円を投じるためです。

この財源は、国・県の支出金5億円、建設事業債10億円、基金からの繰り入れ7億円、一般財源11億円余りで賄います。

歳入は、町税が6億円増（前年比12・3％）の54億円と見込んでいます。内訳は個人町民税で3億円、法人町民税で2億円の増加などです。

歳出では、教育費が大

幅にアップしています。入札の不調から工事期間

が少なくなり、3月末までの出来高が13％程度となつたため、19年度に繰り越す分が増えたことによるものです。

集

中改革プラン（17年度～21年度）に

よる事務・事業の見直しで、19年度は1900万円弱を削減します。主なものは、交通災害共済の

公費負担の廃止、敬老祝い金の見直し、母子家庭等医療費（町単独）扶助費の廃止などで、これ以外にも多岐にわたつて事業のあり方、補助のあり方が見直されています。

条例

町 民会館や温水プールなどの公共施設

の利用料金等が見直されました。施設ことばらばらであった料金の均衡が図られ、さらに、今まで利用料の還付をしなかつた施設についても還付するようになりました。

また、温水プールに専用ロッカー（1か月1000円）を新たに設けます。

下

水道等の使用料の徴収事務は、これ

まで下水道課が上水道の検針データをもとに行つ

ていました。水道使用料と下水道等の使用料を一括徴収すれば、事務の軽減が図れるので、7月から丹羽広域事務組合に委託することにしました。

文

化財保護法の改正に伴い、文化財の定義に文化的景観および伝統的建造物群が追加されました。

町指定文化財のみならず、国・県の指定文化財にも、町の補助金を拡大しました。

国

民健康保険の被保険者が死亡したときに支給される葬祭費は、8万円から5万円に下がりました。18年10月に施行された健康保険法の改正に伴う改正です。

クローズアップ

新年度予算

～ いまを見直し、持続できる ～
明日の大口町を築く



耐震改修促進計画

住宅・特定建築物の耐震化率を90%とする方針が国から示されたため、耐震促進計画を策定します。

予算額 935万円

中学校の建設事業費が大幅にウェートを占めているので目に付いてしまいがちですが、よく見るといろいろな新規事業があります。

きらっと光る新規事業を
クローズアップしてみました。



伝統芸能保存

町内に残る貴重な伝統芸能を後世に引き継ぎ、世代間交流を深める事業を行います。

予算額 146万円

余野伝統芸能保存会が柏森駅完成祝賀会で神楽を奉納



公図を見ながら1本ずつ境界杭を確認

国土調査

垣田・さつきヶ丘および秋田（替地）の地籍調査事業を行います。

予算額 1655万円



妊婦歯科健診

歯周病による胎児の流産を予防するため、妊婦の歯科健診を行います。

予算額 40万円

中学校の記念誌

新生大口中学校の開校を機に、それまでの両校の歩みを綴った記念誌を発行します。

予算額 184万円



まんが大口町の歴史「近・現代編」より転載

本1冊をまるごと公開



会議録の公開

議会の本会議・常任委員会および教育委員会の会議のテープ起こしを委託し、会議録をホームページで公開します。

予算額 238万円

公民館分館活動

学共などを地域の公民館活動の拠点とするため、地域が主体となった施設の維持管理を目指します。

予算額 200万円



会計名	19年度	18年度	前年対比	
一般会計	101億1000万円	79億1000万円	27.8%	
特別会計	国民健康保険	19億1485万円	17億5900万円	8.9%
	老人保健	13億5000万円	13億7482万円	▲1.8%
	介護保険	7億7274万円	7億3743万円	4.8%
	公共下水道	9億8863万円	9億4102万円	5.1%
	農業集落家庭排水	2570万円	2544万円	1.0%
	国際交流	51万円	194万円	▲73.7%
	社本育英	118万円	129万円	▲8.5%
	土地取得	—	—	—
	小計	50億5361万円	48億4094万円	4.4%
	合計	151億6361万円	127億5094万円	18.9%

※①金額は単位未満、前年対比は小数点以下第2位を四捨五入した

②土地取得特別会計は、四捨五入の結果、金額が単位未満となるため表示しない

調整池詳細設計

新川流域水害対策整備計画のもと、降雨による床上浸水被害を解消するため、調整池の詳細設計を委託します。

予算額 1820万円



余野1号緑地の地下に調整池が造られます。

質疑あれこれ

3月議会に上程された議案の中から
主な質疑、賛成・反対の討論が
繰り広げられたものを要約してお知らせします。

武力攻撃事態から 国民を 確保できるか

問 武力攻撃を想定しての対策本部条例だが、地震などの自然災害への対策を充実させるべき。この条例を作る必要があるのか。

また、現地対策本部とはどこを指すのか。

答 自然災害と同様に、万一に備えて作るもの。その万一が起きれば対策を講じることになる。

現地とは、攻撃を受けた地点の近くで、指揮を執ることに支障がない場所である。

問 どこから攻撃されるか分からない。安全な場所などない。非現実的なものを作るより、平和的に自分たちのまちを守る

研究をしてもうたいたい。
答 国民保護計画に準じた運用をするため、必要な条例として提案している。

市町村の責務は、国・県からの情報の伝達、避難誘導などと認識している。

採決の結果、可決

(賛成14、反対2)

賛成討論

▼国民保護法に基づき条例を定めるもの。

▼国民保護計画は、国民保護協議会の答申を受け、さらに県からも正式な回答を得ている。

反対討論

▼国民保護法そのものが疑問(現実的でない)。

▼憲法9条を改正し、海外に武力派遣の道を開く思想動員。

国保の葬祭費

8万円から5万円に

問 葬祭費が8万円から5万円に。法令に沿って改正しないと制裁措置があるのか。

答 昨年9月議会で、出産育児一時金を30万円から35万円に引き上げた。葬祭費も同時に法の改正があつたが、その時点では見送っている。

今回は、国保運営協議会の答申を受け、引き下げられるもの。見直さなければ、特別調整交付金に影響が出る。

問 高齢者には冷たい仕打ちが続く。自治体の裁量で何とかできないか。

答 法令に基づくものなので、5万円を超えて給付すればペナルティーとして交付金が減額される恐れがある。

賛成討論

▼葬祭費は本来の保険給付の対象ではない。

▼出産育児一時金が30万円から35万円に引き上げられたことと併せての改正。

反対討論

▼社会保険では給料の1月分相当。もともと低い金額をさらに下げる改正。
▼引き下げる理由が見当たらない。

採決の結果、可決

(賛成14、反対2)

敬老祝い金は

80歳から節目の年に



これまで80歳以上の人にお祝いを配ってきましたが、19年度からは喜寿・米寿などの節目の年に変更するようです
=昨年9月の敬老行事のもよう

問 敬老祝い金は2年前に75歳から80歳になったばかり。地区開催の敬老事業では、出席できない人にとっては不公平。これまでどおり敬老祝いを続けられないか。

答 高齢者の増加、敬老祝い金の趣旨、敬老事業のあり方などを考慮して、19年度から見直す。これまでも所管の協議会や全協で報告してきた。

問 今は節目にとどめるが、高齢化が進むと廃止するということか。

答 コスト抑制を図りながら敬老事業を行っていくので、廃止ではない。

問 先人に対するお礼と

答 地域の方と高齢者とのふれあい・支え合いという観点で、敬老事業を展開したい。お祝い金は扶助費ではない。

軽度発達障害児童・生徒への対応は

問 発達障害の子どもが増えている。教育体制はどうなっているか。

答 軽度発達障害の子どもたちにもどういった指導が必要かを、今後も専門の医師や心理士に相談・指導をお願いしていく。特別支援教育として、19年度は36回から60回に増やして計上していく。

問 発達障害の子どもの対応は

答 延長保育は園児の3割程度が利用している。夜遅くまで延長保育をしたとき、それが本当に子どもにとってよいことなのかを検討し、考えたい。

問 低所得者に対する配慮はできないか。

答 保育料は所得に応じて、ゼロの方から、未満児では4万円ぐらいの方もいる。延長保育料については、相応の負担をさせていただきたい。

延長保育のあり方と子育て支援



中学校の歴史を記念誌に

問 中学校を統合するにあたり、両中学校の歴史を記念誌にして発行すること。全戸に配布する考えは。

答 合計で1500冊を予定している。全戸配布するほどの予算は組んでいない。パンフレット程度のものでないか一度検討してみる。

19年度一般会計予算賛成討論

▼中学校建設に34億円、さらに政策形成や行政評価制度確立に向けた予算。

▼集中改革プランによる歳出削減などの財政基盤の強化が図られている。

▼第6次総合計画を加味した具体的な取り組みがされている。

反対討論

▼生ごみの減量化・堆肥化を望む住民の声に応えていない。

▼延長保育料の値上げは少子化対策に逆行する。

▼財政力の豊かさが住民に享受されていない。

採決の結果、可決
(賛成13、反対3)

委員会ハイライト



賛成・反対の熱い議論が続く中、求められているのはより効率的な運営です

総務文教

巡回バス事業は昨年と同規模の予算が計上されている。見直しは考えていないのかとの質問に、バス事業を始めてから32万人の利用があるが、1便当たりで見ると少ないことは承知している。専門家の助言をもとに、大幅な見直しをしていくとの答弁がありました。

「劇団ほほえみ」に対するコンテンツ使用料はどつなつたかとの質問に、昨年度の議論をもとに無料で配信できるよう交渉した。今後は、他団体との協働事業を行う場合、芸能文化事業開催委託料として支援することもあるとの答弁でした。

公民館分館活動促進事業協働委託料200万円は、モデル地区を定め、常時開放できるような公民館活動を促進する予算。分館長から提出された計画書に基づき、自由な活動、誰もが利用できる公民館を目指すとの説明でした。

巡回バスは路線などの見直しを

議案は常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑、討論を経て採決されます。

行政区と協議し、敬老祝い金を再検討

健康福祉

18年度補正予算で予防接種委託料を985万円減額した理由は何かとの質問に、日本脳炎ワクチンに問題があるということから、17年5月以降接種勧奨を見合わせた。早期再開の情報がありませんでしたが、認可が下りなかったのが全額を減額するとの説明でした。

19年度から地区で行う敬老事業については、地区によって事情もさまざまなので、新年度の区長と協議して結論を出してほしい。また、敬老祝い金についても80歳以上に変更して2年しか経過していないので、節目の年に改めるのは性急過ぎる。いろいろな意見に耳を傾け

検討してほしいと要望しました。
妊産婦健診は2回から4回に増やしている。国も5回程度の公費負担が望ましいとしているので、検討すべきとの意見に、健診項目も含めて、検討するとの答弁でした。



中小口では70歳以上を対象に敬老事業が行われています
=4月15日、中小口コミュニティーセンターで

集中型も検討してほしい生ゴミ堆肥

環境建設

15メートルまで許可されていた掘削を条例で6メートルに。監視員が目を見守ります

可燃ごみ収集袋が100万円以上の補正減なので理由を問うと、17年度は1枚10円だったが、18年度は6・25円で落ちましたとの説明でした。住民に還元する手立てはなかったかとの再質問に、単年度での操作はできないが、3年間の平均をと

るなど、見直しをしていきたいとの答弁でした。

19年度に砂利採取監視員の予算が計上されました。地下水保全条例に基づき6メートルまでしか掘削できないので、それを確認するため嘱託員を配置するとの説明でした。

集中型による生ゴミ堆

肥化の予算が組まれているのはなぜかとの質問に、今後、廃棄物減量等推進協議会に諮問し、協議していくとの答弁でした。昨年、各区で視察してもらった経緯を踏まえ、早急に検討してもらいたいと要望しました。

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

3月定例会の一般質問は
4人が質問しました。



河合唯敏議員

庁舎の階段にも手すりを 多数の要望があれば

河合 私は議員になっ
て8年間、でき
るだけ階段を利用してき
た。当初はさほど気にも
しなかったが、最近はず
すりの必要性を痛切に感
じるようになった。

エレベーターは設置さ
れているものの、緊急時
の脱出等を考えると、一
日も早く手すりを付ける
べきだと思う。

「人に優しいまち」の庁
舎として、ぜひ考えてい
るか。



総務部長

階段の吹
き抜け側

には、手すりが設置され
ている。これまで手すり
についての要望はなかつ
たが、今後もそうした要
望が寄せられれば検討す
る。

河合

現在の手すりでは、
位置が高すぎて

高齢者には使いにくい。
手すりが必要な者の視点
に立って、検討してもら
いたい。

行政事務の窓口を1か所に 増改築は無理 周知に力を入れる

河合

福祉課・健康課・
こども課・地域

振興課は健康文化センタ
ーに、教育関係は福祉会
館に、生涯学習課は温水
プールに分散している。

「あちらこちらに振り
回されて、窓口が分から
ない」と、多くの苦情
が出ている。

職員を統括する上でも、
改善しなければならな
いと思う。どのように考
えているか。

総務部長

19年度か
ら小学校

の耐震補強の調査を開始
し、順次、工事に着手し
なければならぬ。庁舎
についても、耐震補強の
基本設計を予算化してお
り、大規模な補修が必要
になる。今後多額の費用
が必要になるので、現在
のところ庁舎の増改築は
考えていない。

窓口が分かりにくいと
いう指摘については、広
報やホームページ等で十
分に周知させていた。

北小学校の移転と跡地利用は 住民の意見を取り入れて

木野

平成15年6月、
通学区区域審議会

へ「中学校統合化の完了後、北小学校を北部中学校へ速やかに移転させること」の諮問がなされ、それに対する答申も出ている。

統合中学校は、平成20年4月の開校にめどが付

いた。老朽化した校舎の

安全面や町の財産を有効活用する方法として、早期に移転させるべきと考えるがどうか。

また、北小学校を移転させた場合、跡地および施設の活用についての考えは。

教育長

通学区区域審議会
の答申は

「今後、具体的に検討を進める場合は、住民の意見を十分に取り入れた夢のある学校づくりを推進されたい」である。

なるべく早い機会に、答申に沿った方向性の中で努力していくことが肝要と考えている。

移転した場合の跡地利用については、生涯学習の基盤整備を重点的にとらえ、大口町の将来を考えたまちづくり、人づくりを一体として構想していくことが有効と考える。



木野春徳議員



(左) 北部中学校。これが空き家になったらもったいない

(下) 北小学校の校舎。築後、40年の影があちらこちらに





吉田 正議員

国保 資格証明書の発行をやめよ 受益と負担の観点からやめない

吉田

昨年11月27日現在、37世帯に資格証明書が発行されている。資格証明書が発行された世帯は、一度も医者にかかっていないことが明らかになった。

- ①治療が中断されている実態はないか。
- ②資格証明書の発行で、ますます納税意欲が低下し、滞納世帯が増えている。資格証明書の発行をやめるべき。

健康福祉部長

①通院履歴

を調査した結果、5世帯ある。

- ②資格証明書は、法令等に基づき、特別の事情がなく滞納している世帯に交付することになっている。

滞納世帯に保険証を交付しては、納税している方の納税意欲の低下を招く。国民健康保険が互助制度の上に成り立っていること、公平性、受益と負担の観点から、資格証明書の発行をやめる考えはない。

子どもの医療費を無料に 現行制度を続けるが、再検討も

子どもの通院医療費

無料化状況

(一部の市町村を抜すい)

中学校 3年生まで	弥富市 *高浜市 飛島村
小学校 6年生まで	碧南市 甚目寺町 吉良町
8歳未満	*大口町
4歳未満	南知多町

*一部負担あり

吉田

大口町の乳幼児医療は3歳以下が無料、4歳以上8歳未満は、申請によって3割から1割負担とすることができる。

健康福祉部長

①大口町に

は、社会保険加入者のデータがない。また、国保連合会から提供される国保分の給付受診者一覧表では生年月日の記載がないので、いずれの場合も件数を把握できない。

- ①お金が戻るのに申請されていない件数は、何件あるのか。
- ②医療機関の窓口で、対象者全てを無料にするべきではないか。

②役場の窓口での申請が、行政と住民の方とのコミュニケーションの場となっているので、当面は現行制度を続ける。しかし、県が乳幼児医療制度の拡大を検討しているので、動向を見守り再検討したい。

地産地消に冷温倉庫を 制約はあるが検討したい

田中

地元でとれた米
や野菜を地元で

消費する「地産地消」
の取り組みがされている。
より一層の飛躍を望みたい。

①学校給食では大量の食
材が必要。一定量を確
保するには、冷温倉庫

の設置が欠かせない。
検討できないか。

②文部科学省も、地元産

物の導入率の目標を掲
げ推奨している。町も

目標値を定め、積極的
に推進すべきではない
か。

教育部長

①学校給
食で地

産地消を進めるには、
生産者の発掘と安全・
的に供給できる仕
組みを作らねばなら
ない。

冷温倉庫の設置には
衛生管理基準の制約
があるが、検討したい。
②環境経済課と連携を
深めながら、進める
体制作りを検討した
らどうか。



田中一成議員

資源物の常時回収への対応は 住民参加を主体とした取り組みを



完成した資源リサイクルセンター。場所は総合運動場の南側
=3月28日、竣工式に撮影

田中

さつきヶ丘では、
常時、資源物

回収できる場所が確保さ
れつつある。全町的にこ
うした場所を確保すると
同時に、常時回収の成果
が上がるようにしなけれ
ばならない。

焼却ごみの減量意識は
高揚しており、これに応
える町の企画と住民への
アピールが必要だが、ど
のように考えるか。

環境建設部長

大口町
では古

くから資源物の分別回収
が行われ、町民の意識は
非常に高いと実感してい
る。

河北地区や資源リサイ
クルセンターでの常時回
収で、焼却ごみの減量が
実証された。今後は、住
民参加を主体とした常時
回収の仕組みづくりを検
討していく。

焼却ごみ減量20パーセ
ントを達成するには、住
民一人ひとりの協力がな
くてはできないので、今
後とも広報等を通じてア
ピールしていく。

図書館に何を求めるか

森に包まれたイメージ

伊方町の図書館は生涯学習センター（RC造6階建て）の2階にあり、学習の場、憩いの場、ふれあいの場をイメージ。毎週第2・4土曜日は未就学児童・低学年児童を対象に、ボランティアに

よる「お話し会」を開催していました。

内子町の図書館は自治センターを併設した文化創造センターとして建設。木造瓦葺の建物は旧家の蔵を思わせ、木のやさしさ、ぬくもりが感じられました。

政策調整会議で

地域間格差を調整

17年4月に旧伊方町・瀬戸町・三崎町が合併し、新生伊方町が誕生。3町の財政力指数は旧伊方町1.26、旧瀬戸町0.15、旧三崎町0.14で財政力に大きな差がありました。

旧伊方町には原子力発電所があり、それに伴う交付金と固定資産税で財政的に余裕があったようです。旧伊方町が積み立てていた70億円の基金の内、30億円を旧伊方町分として取り扱うことで合意。現在は、地域間格差を是正するため、助役を長とする政策調整会議で調整を図っている。

新政クラブは1月10日・11日、財政力の異なる自治体合併状況と図書館を調査するため愛媛県伊方町と内子町を視察しました。



おおぐちはどうなってるの？

政務調査費・費用弁償比較

平成19年3月1日調べ

市町名	政務調査費(年額)	領収書の公開	費用弁償の支給
犬山市	150,000	○	×
江南市	150,000	○	×
岩倉市	150,000	○	×
大口町	60,000	○	×
扶桑町	58,000	○	×

問 昨今、新聞紙上で問題になっている議会の政務調査費と費用弁償。大口町の議会はどうなっているの。

答 政務調査費は行政に関する調査研究などのため、議員または会派に交付されるものです。大口町は議員1人当たり6万円を会派に交付しています。

年度末には領収書を添付した収支報告書を提出し、余った費用は町に返還しています。

費用弁償は「交通費や旅費など、職務の執行のために要した費用を弁償する」ものです。大口町は近隣市町と同様、費用弁償を支給していません。

視察会計報告書

平成18年度の視察会計状況を報告します。

常任委員会視察

総務文教(6人)

視察先 島根県斐川町
島根県出雲市

健康福祉(5人)

視察先 静岡県牧之原市
静岡県長泉町

環境建設(6人)

視察先 三重県桑名市
兵庫県佐用町

政務調査

視察先 大政クラブ・公明党(13人)
静岡県焼津市

日本共産党(2人)

視察先 新潟県長岡市
新潟大学

新政クラブ(2人)

視察先 愛媛県伊方町
愛媛県内子町

総額

7万円

総額

11万円

総額

7万円
(単位未満は四捨五入)

追 跡

1年前の一般質問

あれからどうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたかを追跡調査してみました。今回は、平成18年3月定例会からピックアップしました。

具体策はあるのか農業公園構想

「農地を次世代に引き継ぐことが責務であり、積極的に取り組む」と、農業公園構想について18年度の施政方針で言われたが、具体策が見えない。どのように考えているか。

(田中一成議員)

町長答弁

多面的機能を活用した施策を

環境・景観・交流・健康・教育の5つの側面から、農地の持つ様々な機能に着目した施策を展開したい。

どうなった

目指すべき方向や目標を明らかに

19年度の施政方針では「目指すべき方向やそれに至る道筋と目標を明らかにし、構想のさらなる充実を図る取り組みを行う」となった。

質問者の満足度



19年度の当初予算を見る限り、農業公園構想に目新しい取り組みは見当たらない。「構想のさらなる充実」とはどのようなものなのか、まずはお手並み拝見。



完熟堆肥は有機肥料として販売されます
＝長野県飯田市堆肥センターで

集中型施設の検討を

生ごみ以外にも^{せんてい}剪定枝や畜ふんなどを視野に入れ、大口町にあった集中型堆肥化施設の検討を。

(安藤 桂議員)

町長答弁

環境施策として取り組む

集中型・分散型それぞれメリット・デメリットがある。議会から提案のあった全町を一括した集中型施設での堆肥作りは、環境施策として取り組みたい。

どうなった

真意が見えない

集中型施設を調査研究してほしいという提言書に対する回答もないし、担当課が調査研究している様子も見受けられない。

環境施策として、真剣に取り組んでいるのだろうか。

自治功労者表彰

高橋 歳治 議員



長い間、ご苦労さまでした
＝3月6日、議長から表彰の伝達

全国町村議会議長会から2月6日、高橋歳治議員に自治功労者表彰が贈られました。昨年10月には愛知県町村議会議長会から表彰を受けているので、2度目の表彰になります。自治功労者表彰は在職15年以上の議員に対し、長年にわたって地方自治の振興・発展に寄与したとして贈られるものです。議長から、これまでの労をねぎらうとともに、今後の活躍をお祈りする言葉がかけられました。

第21回町村議会広報 全国コンクール トップ10

最優秀賞	岩手県矢巾町議会
優秀賞	愛知県大口町議会
同	岩手県金ケ崎町議会
同	宮城県大郷町議会
入選	宮崎県高千穂町議会
同	鹿児島県蒲生町議会
同	京都府木津町議会
同	群馬県昭和村議会
同	広島県坂町議会
同	鹿児島県知覧町議会



おおぐち議会だよりは、第21回町村議会広報全国コンクールで優秀賞（全国2位）を受賞しました。一昨年の優秀賞（4位）、昨年の入選（10位）に続き、3年連続の入賞です。講評では①表紙全体のバランスが良い。「おおぐち」の文字、プールの水しぶきを静止させた写真、さらにアシサイが季節感を表現している②視察先の紹介だけでなく、

自分の町との相違点を整理している③専門用語には脚注として解説文があり、読者の理解を助けている——とされています。 今回の受賞を励みに、さらに「わかりやすく」そして「ありのまま」伝えるため、編集委員一同、ねじり鉢巻きでがんばっています。 これからも応援してください。



気まぐれ
写真館

当写真館は気が向いたときだけ開館する「きまぐれ写真館」です。今回は、3月の出来事をピックアップしてみました。

名鉄柏森駅 完成式

3月28日



(上) 華々しくテープカット。この後、記念列車を見送りました
(左) 余野伝統芸能保存会が木遣りを披露

卒業おめでとう



大人になったら先生になりたい。プロ野球の選手になりたい。親孝行したい——と、さまざま。卒業証書を受け取る前、一人ひとりが将来の夢を語りました。挫折したら、また別の夢を見つけたい。君たちには無限の可能性があるので……。
=南小の卒業式



桜並木健康 ジョギング

3月11日 総合運動場



(左上) いろんな場面で「おおぐち」を応援してね
(左下) 大口町を火災から守ります。ガンバレ!! 消防団
(右) た〜らこ〜、た〜らこ〜。仮装大賞も納得です



わがふるさと その11 再発見

桜塚古墳 大屋敷三丁目

桜塚は五条川にかかる桜橋の北東に位置し、直径約14メートル、高さ約2.5メートルの円墳で、頂上に桜の木があるところから桜塚と呼ばれています。

桜塚古墳の案内札には、「奈良時代の終り頃、一人の行者が鬼門よけの天神を奉じ、長桜の地に祠った時に、杖として持ってきた桜の枝をこの塚にさしたものが芽吹き、一重と八重の花を咲かせたので、桜塚と呼ばれるようになったと伝えられている」とされています。



皆さん議会傍聴に 来てください

次回定例会

6月4日(月)から 予定

手続き簡単。
3階で住所と名前を書くだけです。

発行／大口町議会 編集／議会だより編集委員会
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下八口七丁目15番地
TEL (0587) 95-1111 FAX 95-1454
古紙回収率100%再生紙を使用しています。



子ども会紹介⑭ 二ツ屋・仲沖子ども会

現在町内では16の子ども会が元気に活動しており、このコーナーでは、順次子ども会を紹介していきます。

私たちの子ども会は、子どもが少ないため二つの地区が一緒になり、子ども会活動をしています。新入生歓迎会に始まり、1年間、少人数ながらも楽しく過ごして

活動しています。ドッジボールは河北区に入ってもらい、毎年、一生懸命練習し、本番には子どもたちはもちろん、役員もつい本気モードになっています。少人数で良いところは、皆が仲良く、まとまりがよいところです。子ども会行事が進行しやすく、移動もスムーズ

ズレていきます。今後、今とあまり変わらない環境だと思えますが、子どもたちに思い出が残せるような子ども会行事をできたらいいと思います。二ツ屋・仲沖 子ども会会長

編集後記

昨今、企業の倫理感が問われるような事件・事故が起きています。経済性のみを追求するのはなく、社会、自然環境、従業員などに配慮した経営をすることで、成長を持続できるのではないのでしょうか。

日常の取引や人間関係において、長年の実績が評価され、それが繰り返されることによって、信用・信頼が培われていくものと思います。

一瞬の出来事で何十年もはぐんだ信用を台無しにするのは、見るに忍びないものです。(酒井久和)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 安藤 桂 |
| 委員長 | 柘植 満 |
| 副委員長 | 木野 春徳 |
| 委員 | 吉田 正 |
| 委員 | 倉知 敏美 |
| 委員 | 宮地 計年 |
| 委員 | 酒井 久和 |